

目次

I . 総括研究報告 1

水澤 英洋 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院)

. 分担研究報告

1. 孤発性 Creutzfeldt-Jakob 病 MM1+2 型の剖検例における脳病理所見と死亡前日頭部 MRI 所見の対比
山田 正仁 (金沢大学大学院脳老化・神経病態学 (神経内科学))
2. プリオン病の二次感染リスク者のフォローアップに関する研究
齊藤 延人 (東京大学大学院医学系研究科脳神経外科学)
3. ヒトプリオン病の遺伝子解析と VV2 プリオンの滅菌法開発
北本 哲之 (東北大学大学院医学系研究科病態神経学)
4. サーベイランスデータに基づくわが国のプリオン病の疫学像 (1999-2015 年データ)
中村 好一 (自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門)
5. プリオン病サーベイランスデータの管理・運用の研究
金谷 泰宏 (国立保健医療科学院健康危機管理部)
6. 血管性認知症の経過中クロイツフェルトヤコブ病 (CJD) の続発が疑われた 84 歳男性例
村山 繁雄 (東京都健康長寿医療センター研究所老年病理学研究チーム・神経病理学)
7. プリオン病サーベイランスにおけるヒトプリオン病の髄液中のバイオマーカーの検討と異常プリオン蛋白試験管内増幅法 (RT-QUIC 法) による解析
佐藤 克也 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科運動障害リハビリテーション学講座
神経内科学専攻)
8. MRI の ASL 法追加に伴う CJD 診断能の変化について
原田 雅史 (徳島大学病院放射線科)
9. 過酸化水素低温ガス滅菌器の国内販売状況調査
太組 一郎 (日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科)
10. 平成 27 年度北海道地区のサーベイランス状況について
森若 文雄 (医療法人北祐会北祐会神経内科病院神経内科学)
11. 東北地方におけるプリオン病のサーベイランス状況
青木 正志 (東北大学大学院医学系研究科神経内科学)
12. 新潟・群馬・長野におけるプリオン病の発生状況
西澤 正豊 (新潟大学脳研究所神経内科学)
13. 非典型的な臨床経過を呈した E200K 変異遺伝性 CJD の剖検例
田中 章景 (横浜市立大学大学院医学研究科神経内科学・脳卒中医学)
14. V180I-129M gCJD の SPECT 所見に関する検討
犬塚 貴 (岐阜大学大学院医学系研究科神経内科・老年学)
15. 当院における遺伝性プリオン病血縁者に対する遺伝カウンセリング経験と今年度の近畿ブロック

- におけるプリオン病サーベイランス状況……………
- 望月 秀樹 (大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学)
16. 中国四国地区におけるプリオン病サーベイランス……………
- 阿部 康二 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学)
17. コドン 102 変異を伴う Gerstmann-Stäussler-Scheinker 病の臨床疫学的検討……………
- 村井 弘之 (九州大学大学院医学系研究科神経内科学)
18. 耐熱性プロテアーゼによるプリオン蛋白質の分解と二次感染予防法の確立……………
- 古賀 雄一 (大阪大学大学院工学研究科極限生命工学)
19. プリオンタンパク質の異常型構造への分岐とプリオン病の予防……………
- 桑田 一夫 (岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科)
20. Gerstmann-Sträussler-Scheinker disease (P105L 変異) 剖検脳におけるアミロイド 42 の沈着パターン……………
- 三條 伸夫 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学神経内科学)
- クロイツフェルト・ヤコブ病 2 次感染リスク保有可能性者 10 年間のフォロー結果
- 三條 伸夫 東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野(神経内科)
21. プリオン病サーベイランスにおける調査票の 2011 年以降の回収状況……………
- 塚本 忠 (国立精神・神経医療研究センター病院神経内科)

・研究成果の刊行に関する一覧表……………

・プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班およびプリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班合同研究報告会プログラム……………

・プリオン病及びサーベイランスと対策に関する全国担当者会議……………

・プリオン病サーベイランス調査資料……………

・プリオン病インシデント調査資料……………